

静岡県試験研究 10 大トピックス (畜産技術研究所)

<p>タイトル</p>	<p>肉質・発育が良いデュロック種系統豚「フジロック 2」が完成</p>	<p>研究課題名 期間</p>	<p>優良雄系遺伝子の探索と再現技術の確立 (H22~27)</p>
<p>所 属</p>	<p>畜産技術研究所 中小家畜研究センター</p>	<p>補職名</p>	<p>上席研究員</p>
		<p>研究者名</p>	<p>寺田 圭</p>
		<p>問合せ先</p>	<p>0537-35-2291</p>
<p>研究概要</p>	<p>【背景・ねらい】 静岡型銘柄豚の生産に種豚として利用されているデュロック種系統豚*「フジロック」は、血の濃さの指標となる近交係数が増加し、能力の低下が懸念されたため、平成 22 年より新しいデュロック種の造成を開始した。 新たなデュロック種の造成として良好な発育と肉質、丈夫な蹄と足を持つように選抜、交配を実施した。</p> <p>【成果の内容・特徴】</p> <p>1 デュロック種系統豚「フジロック 2」が完成 「フジロック」の後継となる「フジロック 2」が完成した(図 1)。「フジロック 2」は県内養豚農家の肉豚生産に利用が期待される。</p> <p>2 「フジロック 2」は高い発育性、良好な肉質 全国より優良なデュロック種を導入して、従来の「フジロック」と交配、血縁の交流を行った後、一日増体重・背脂肪厚・ロース断面積・剪断力価の良好な個体を選抜、交配を実施した。選抜・交配は 5 世代繰り返し、高い能力を持つ個体を選別していった(表 1)。</p> <p>3 「フジロック 2」は強い肢蹄 家畜改良センター方式の肢蹄スコアを導入し、肢蹄の評価を行った(図 2)。スコアは 3 に近づけた。肢蹄の改良についてはスコアが良好なものと良好でないものを交配させ、徐々に良好な肢蹄に改良を行った。</p> <p>【成果の活用・留意点】</p> <p>1 新たに完成した「フジロック 2」は静岡型銘柄豚の雄豚としての利用に加えて、県内養豚農家の種豚として利用することができる。</p> <p>2 「フジロック 2」は SPF 豚であるので導入の際には衛生管理の徹底が必要。</p> <p>*系統豚：互いに血縁関係があり、高い能力を持つように選抜された種豚集団。日本養豚協会の認定基準に基づき認定される。</p>		

* 図、写真などについては次頁に添付をお願いします。

様式 2



図 1 完成したデュロック種「フジロック 2」

表 1 「フジロック 2」の能力の比較

選抜形質	フジロック2	フジロック (参考)	全国の平均 (H27)	増殖目標 (H37)
一日増体重(g/day)	949	931	912	1030
背脂肪厚(cm)	1.5	2.63	1.5	1.5
ロース断面積(cm ²)	38.3	35.2	38	38
剪断力価(lb/cm ²)	7.3	データなし	データなし	データなし

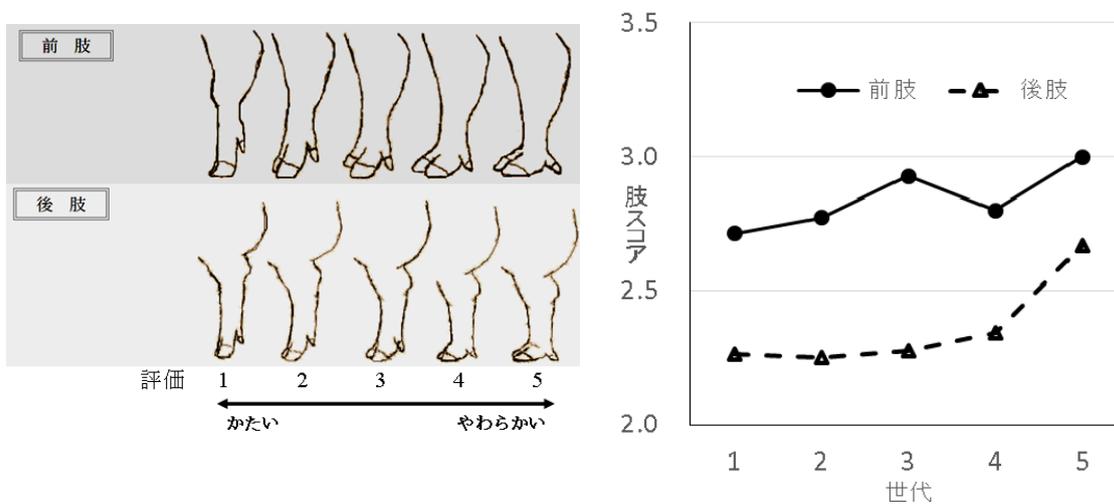


図 2 肢蹄のスコアと選抜の推移